

◆2025年3月の新刊

日本キリスト教団出版局

増補
改訂版

新約聖書の本文研究

伝達・改悪・回復

B.M.メツガー／B.D.アーマン 著

2025年
3月25日
刊行予定

はし も と し げ お
橋本滋男 訳

1935年兵庫県生まれ。1980-2006年、同志社大学教授(1994-2006年、同神学部教授)。2008年逝去。

ま え か わ ゆ た か
前川 裕 訳

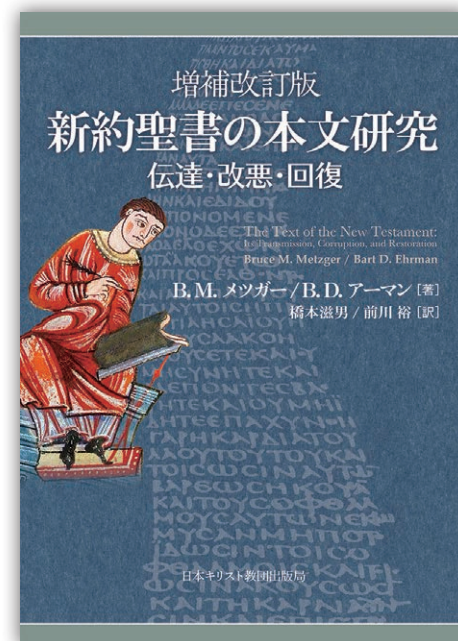
1970年三重県生まれ。関西学院大学理学部准教授(宗教主事)、日本聖公会京都教区ウイリアムス神学館非常勤講師。

大幅に増補された原著第4版より待望の訳出！

私たちが手にする新約聖書の本文は、どのようにして現在の形となったのか。本文の元となる膨大な写本の種類やその作成について、そして、新約聖書の本文批評の歴史とそのなかで生じた「改悪」等を丁寧に解き明かす。新約本文学の最新の知識を得ることができる一冊。

A5判・上製・448頁・定価6,600円(本体6,000円+税)

ISBN978-4-8184-0977-4 C3016



推薦のことば

私たちが読んでいる新約聖書に「原本」が存在しないという事実はどれだけ意識されているでしょうか。オリジナルは失われ、聖書本文は手書き写本によって伝えられましたが、写しが繰り返される中で、本文にはさまざまな改変が加わり、膨大な数の「異本」が生まれました。その歴史をさかのぼって、オリジナルに少しでも近づこうとする努力は今もなお続いており、本書はその内容を詳しく解説しています。今回翻訳されたこの原著第4版には、デジタル時代の新しい研究も紹介されていますから、旧版をお持ちの方も、本書で情報をアップデートするのがお勧めです。原著以降の動向は「訳者補遺」で解説されていますので、本書は文字通りの「最新情報」です。

辻 学(広島大学大学院人間社会科学研究科教授、学校法人啓明学院院長)